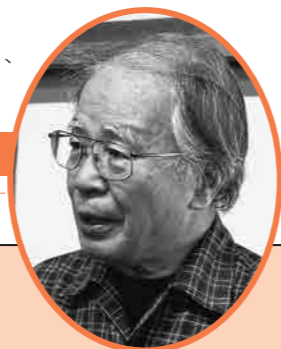


キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

市内在住のウッドクラフト職人



ウッドクラフト職人
にしおかたし
西岡忠司さん

長く愛される
『ものづくり』を

木材を素材とした工芸であるウッドクラフト。『工房西岡』の西岡忠司さんは、木の温かみのある動物たちなどさまざまなウッドクラフト作品を作っています。

若い頃から釣りが趣味であったという西岡さん。『バス釣り』のルアー作りがきっかけでウッドクラフトを始め、独学で作り方を習得しました。

「依頼があれば、県内外の博物館や水族館、物産店にも作品を納めています。木製の『となりのトトロ』制作も請け負い始め、大変さと有り難さを同時にかみしめています。」と代表的な作品を教えてくださいました。



▲いろいろな生き物をモチーフにして、つくられたウッドクラフト

作品は、生き物を中心に昔の欧米雑誌などのイラストから着想を得たデザインで木製ならではの柔らかい雰囲気表現されています。『手に持ってホッとするものを』をコンセプトに、西岡さんは、小さい子どもが気に入るかどうか、そして安全かどうかにかかわりを持ち、作品づくりを行っています。

「素材（天然木）や手仕上げの特性上、色味や形状など全く同じものはないんです。一時的ではなく、何十年も長く愛されるものを作るよう目指しています。」と笑顔で語る西岡さん。

独特の光沢とかわいらしいデザインで目を引く西岡さんの作品は、『道の駅はなぞの』や『県立川の博物館』で購入できます。

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

埼玉県農林公園 Part1



◀ここは、果樹園だよ。ブドウとかミカンとか季節にあわせているんだって。他にも、野菜園があって、有料で収穫体験もできるんだよ！



▲農産物直売所にきたよ！今年の6月に建物が新しくなったんだって。地元でとれた新鮮野菜や果物などが売っているんだよ。作った人がわかるように売られているから安心だね！黒色の建物が目印だよ！

ふっかちゃんの
つぶやき

20日(休)はアリオ深谷1階センターコートで、ふっかちゃんのイベントを開催するよ！みんなでネギ〜クリスマス♪Y(c0w0o)Y



新庁舎

建設進行中！第8回

深谷市役所は、2021年4月に新庁舎へと生まれ変わります。このコーナーでは、新庁舎に関する情報をお知らせしていきます。問い合わせ/新庁舎建設推進室 ☎501 - 2610 今までの取り組みや最新情報は市ホームページをご覧ください。

深谷市庁舎建設 検索

■新庁舎の免震装置設置工事が始まりました

基礎工事も順調に進み、免震装置設置工事を開始しました。この免震装置（積層ゴム）により、地震の揺れを直接建物に伝わりにくくし、地震に強い建物構造となります。

●今後の予定

12月 基礎工事・免震装置設置工事

1月 免震装置設置工事、免震上部基礎工事、1階梁・床工事

工事に伴い、駐車場が狭くなっているため、市役所へお越しの際は庁舎西側の臨時駐車場をご利用ください。

また、周辺の安全に配慮し工事していますが、ご来庁の際や付近を通行する際は、十分ご注意ください。



▲現在の工事の様子（11月17日撮影）



▲この基礎の上に免震装置（積層ゴム）を設置します。



▲免震装置（積層ゴム）。新庁舎では55基設置し、この上に建物をのせます。

心の広場

岡部小学校5年(現6年)
強瀬 友理さん



「知ること」の大切さ

私は目の不自由な人が、もう導犬と歩いているのをテレビで見ました。その人はもう導犬と歩くのが初めてで、とても不安そうでした。もう導犬は周りの様子をよく見て、車や信号に気をつけながら正確に歩けていました。

その人は家の中でも、もう導犬と一緒に歩きました。もう導犬はその人の「目」なのです。

四年生の時、私たちは人権週間にアイマスク体験をしました。アイマスクを付けて学校の中を歩き、目の不自由な人たちの気持ちを考えよう、という学習です。

アイマスクを付けた私を、パートナーの友達がゆう導してくれました。目の前は真っ暗で何も見えません。手と足でさぐりながら、必死で友達の声やまわりの音を聞きました。

特に怖かったのは階段です。手すりをにぎりしめて、ゆっくり上り下りしました。「まだ終わらないのか。」と思いながら、心の中は恐怖でいっぱいでした。次に友達がアイ

マスクを付けて私がゆう導しましたが、やはり階段はゆう導する私もとても怖かったです。

アイマスク体験はほんの短い時間でしたが、怖かったです。でも、目の不自由な人は、ずっとそんな思いをしているのです。そんな中で、もう導犬をたよりにして生活しているのです。

先日、テレビのニュースで、目の不自由な人がもう導犬とともに駅のホームから転落して亡くなった、ということを知りました。そのもう導犬は駅や電車になれていなかったのでしょうか。その人も犬も、とてもかわいそうな事故だと思いました。

世界には目の不自由な人がたくさんいます。体が不自由で動かせない人や、重い病気の人もいます。私達のアイマスク体験のように実際に体験してみると、不自由であることの大変さが本当によくわかります。知ることとは本当に大切です。五年生では車イス体験があります。車イスはどんな仕組みになっているのか、車イスの人はどんなところが大変だと思うのか、体験を通してしっかり学ぼうと思います。そして、しょうがいのある人たちに寄り添える人になれるよう、がんばりたいと思います。そのためにも、これからも体の不自由な人たちのことをよく知り、理解し、学びつづけていきたいと思います。